

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者／初級システムアドミニストレータ試験の合格発表がありました。統計データをもとに、全体のスコア分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■基本情報技術者試験(FE)

〔平成 20 年秋期の基本情報技術者試験 統計情報〕

応募者	101,552 人
受験者	73,249 人
合格者	17,074 人
合格率	23.3%

今回平成 20 年秋の応募者数は、昨年同時期の平成 19 年秋と比べて 2,000 人ほど増加しました。今回の合格率は 23.3%で前回平成 20 年春の 20.7%に比べて増加しました。過去最高だったのは 18 年秋の 24.2%ですが、それに近い高い合格率といえます。ちなみに平成 17 年秋の合格率は 12.8%とかなり低いものでした。

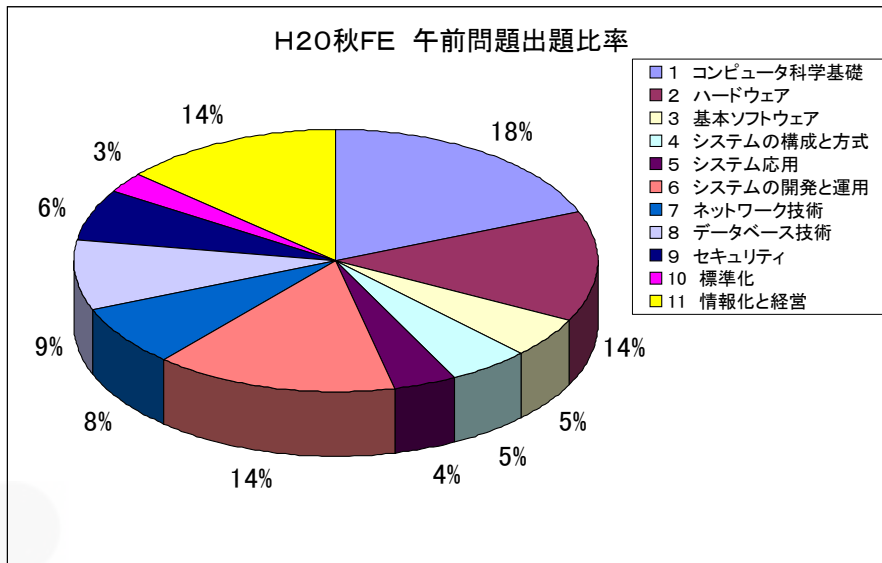
現行の試験制度で行われる基本情報技術者試験はこれが最後で、次回の来春からは新しい試験制度の下、出題内容も大きく変わります。

今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

〔午前問題〕

- ・過去問題の比率は全体の 8 割で、かなり多い数でした。このうち、過去の基本情報技術者の過去問そのもの、または小改訂した出題が 26 問ほどありました（前回は 24 問）。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題として、次のような出題がありました。
 - 問 5 ある実数を超えない最大の整数値
 - 問 6 数字と空白文字の組合せ
 - 問 31 グリッドコンピューティング
 - 問 49 会員 ID の発行の計算
 - 問 63 セキュリティ技術
 - 問 66 パケットの通過を禁止できないプロトコル
 - 問 67 Web サーバのコンテンツ改ざん後の対応順序
 - 問 76 営業員の取引先の最短巡回時間
 - 問 79 特許出願競合時の取扱い
- ・計算問題は 13 問ありましたが、例年とほぼ同じ数です（19 年春には 15 問あった）。
- ・今回の試験ではソフトウェア開発技術者の問題と同じ出題が 8 問ありました。他の高度区分の試験ではネットワークと 1 問、上級シスアドと 2 問が同じでした。なお、初級シスアドと同じ問題は 8 問ありました。

平成 20 年秋期の基本情報技術者試験



〔午後問題〕

・必須問題 5 問の出題分野とテーマは、次のとおりです。

- 問 1 トラフィック計算 (ネットワーク)
- 問 2 文字列の整形プログラム (アルゴリズム)
- 問 3 関係データベース, SQL (データベース)
- 問 4 最短距離の算出 (アルゴリズム)
- 問 5 楽曲ダウンロードシステム (プログラム設計)

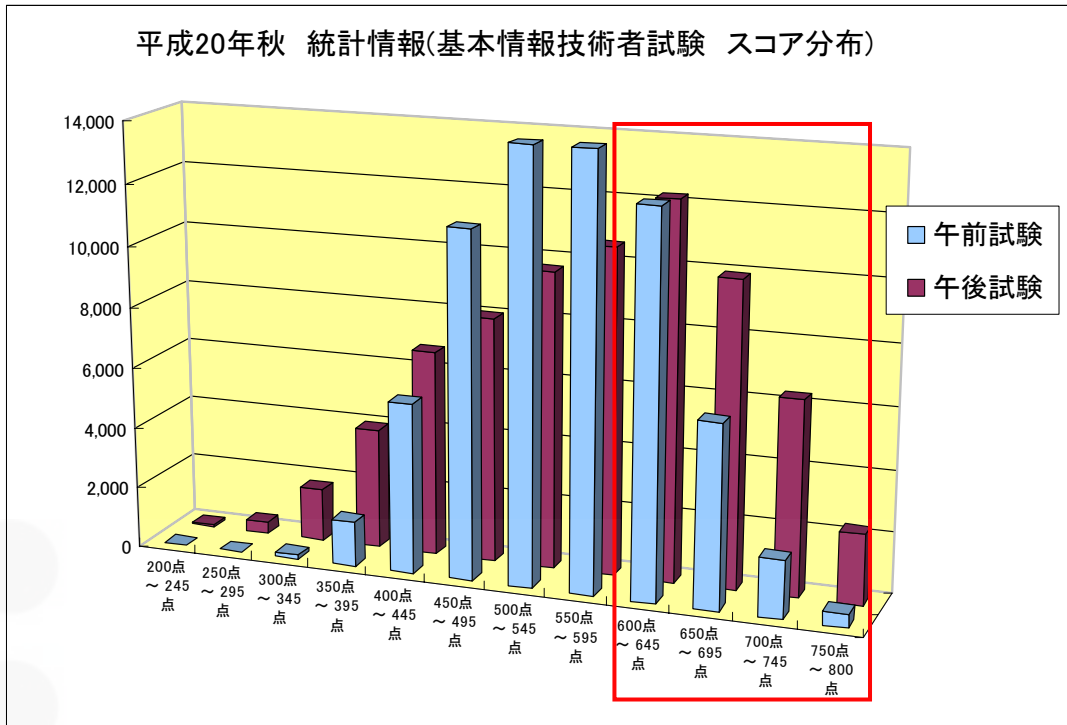
今回の午後試験内容は、前回に続いて、必須問題にもアルゴリズムが出題され、アルゴリズム問題を苦手としている人はやや苦勞したと思われます。配点比率の高い問 4 のアルゴリズム問題の難易度は普通レベルでした。

プログラム言語の問題は、ここ数年易しい問題が多かったのですが、今回は前半が非常に易しく、後半は考える必要があるやや難の問題でした。

試験センターから発表された基本情報技術者試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

〔平成 20 年秋 統計情報(基本情報 スコア分布)〕

スコア	午前試験	午後試験
200 点 ~ 245 点	7	46
250 点 ~ 295 点	10	387
300 点 ~ 345 点	153	1,733
350 点 ~ 395 点	1,483	3,962
400 点 ~ 445 点	5,580	6,729
450 点 ~ 495 点	11,283	8,008
500 点 ~ 545 点	15,457	9,679
550 点 ~ 595 点	15,766	10,594
600 点 ~ 645 点	12,429	12,231
650 点 ~ 695 点	5,976	9,933
700 点 ~ 745 点	1,897	6,348
750 点 ~ 800 点	448	2,304
計	70,489	71,954
合格者数	17,074	合格者数との差
午前 600 以上合計	20,750	3,676
午後 600 以上合計	30,816	13,742



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人が 20,750 人(29.4%)、午後で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 30,816(42.8%)います。合格者数が 17,074 人だったことから、午前は合格点以上だが午後で失敗した人は 3,676 人 (前回 4,829 人)、逆に午後試験では合格点を取れているのに午前試験で合格点未達だった人が 13,742 人(前回 8,591 人)いることになります。

今後の試験対策として、午前試験で出題される知識の理解度を確実に上げることが大切です。

(今回合格された人)

合格された方で来春の応用情報技術者試験など、上級レベルの試験を受けられる方は、試験問題のレベルが一段上がるので、早めに学習することが必要です。特に新試験制度では午前試験の出題範囲が非常に広くなり、出題内容も大きく変わりますので、早く学習することが大切です。

といっても基本情報技術者試験の内容がベースになりますので、苦手分野や今回解けなかった問題などを中心に、まず、弊社テキストの「コンピュータシステムの基礎」で基礎力をもう一度付けて下さい。今まで読み飛ばしていたところも含めて、再度学習することが大切です。

学習にあたっては、アイテックで出版している予想問題集、本試験問題をご利用ください。また、受験対策のプロ講師が応用情報技術者の試験対策セミナーを行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テストをすべて含んだ「応用情報技術者 総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト (2 回) を含んだ標準学習時間 3 か月の「応用情報技術者 短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前試験のスコアが 550 点~595 点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。次回は新しい試験制度で、午前試験の出題範囲が広くなり、分野ごとの出題比率も大きく変わります。また、午後試験ではプログラム言語が 1 問に減ります。また、従来のプログラム言語に加えて表計算ソフトによる受験も可能になります。広くなった分野からの選択問題も増え

るなど、いろいろ変更点多いので、弊社で行っている通信教育コースの受講をお勧めします。コースには、新試験制度に対応させて新規で作直した予想問題集や午後試験対策のテキスト「午後問題の重点対策」のほか、午前知識の基礎テキスト、テストをすべて含んだ「基本情報技術者総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ「基本情報技術者 短期コース」があります。

その他、基本情報技術者の試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」など教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)

